

令和元年8月25日
今週のベストショット



青松園B 奈多サンデーズ 対 三友クラブ

トドメの満塁HRを放ったサンデーズ増田選手（左）と同点3ランを放った古賀風太選手。

写真：ソルトベイスターズ 坂本 皓祐

奈多グラウンド ホーネッツ貰った好機を逃さず大勝

ブルーマーリンズ 0 1 0 1 2 横山（祥）○、児玉ー中城

三苦ホーネッツ 5 4 9 5 2 3 川原○ー広木

HR：堺（恭）、今田（三苦ホ） 3BH：糸井（ブルー） 2BH：今田（三苦ホ）、中城（ブルー）

盗塁：井手、矢野、稲葉、山崎（三苦ホ）

初回先攻のブルーマーリンズを3人で仕留めた三苦ホーネッツは、5四球に井手選手、今田選手の安打を絡め5点を先制した。二回表ブルーマーリンズは五番中城選手が中堅への二塁打を放ち相手の失策もあり一気に本塁へ帰ってきて1点を返した。ここで勢いに乗りたかったが後続が打ち取られて終了。二回後攻のホーネッツは先頭打者が出塁すると一番堺（恭）選手が左中間へ本塁打放ち2点追加。その後も稲葉選手の適時打で更に2点追加。三回もホーネッツは攻撃の手を緩めず今田選手の本塁打を含めて7安打を集中して一挙9点を挙げて引き離す。四回表ブルーは一死から四番糸井選手が左翼へ三塁打を放ち好機を作ると、六番末松選手が左翼前への適時打を放ち1点を返した。四回裏ホーネッツはこの回から代わった児玉投手から6連続四死球を選び松尾選手の適時打などもあり5点追加した所で時間切れの試合終了となった。勝ったホーネッツは計16四死球を選び貰った好機をしっかりとモノにして得点を積み重ねていき安定の戦いぶりだった。敗れたブルーマーリンズはなんと言っても2投手で計16四死球を出してしまったため守備の時間も長く流れを作れなかった。投手がまず相手に打たせる事を意識していく必要があるように感じた試合だった。（記事：新町ウインズ 野中 一史、写真：早田 主大）



三苦ホーネットス先発の川原流星選手。



ブルーマーリンズ先発の横山祥郎選手。



二回表、チーム初ヒット、二塁打を放つ中城 優也選手。



二回裏、本塁打を放ちチームに迎えられる堺恭祐選手。



三回裏、チーム2本目の本塁打を放った今田学選手。



四回表、意地の三塁打を放つ糸井祐章選手。



途中登板ブルーマーリンズ児玉隆成選手。



両チーム健闘をたたえ合い。

青松園A ライナーズ、宇野選手の豪快3ランを含む5打点とエース有馬投手の粘投で勝利！

雁ノ巣ライナーズ（3勝4敗）4 1 0 4 0 9 有馬○ー今林（颯）

奈多クラブ （6勝4敗）0 3 1 1 1 6 大石●、馬場○ー安河内

HR：宇野（雁の巣） 2BH：正内、宇野（雁の巣） 大石（奈多ク）

雁の巣ライナーズは初回、一二番が死球で出塁した後、三番正内選手が右前に適時打、四番宇野選手は右中間に3ランを放ち、いきなり4得点。4点ビハインドとなった奈多クラブも初回、二つの四球で一死二塁のチャンスを作るが、四番馬場口選手の鋭い当たりは二塁手の池内選手、遊撃手の明瀬選手の堅い守備に阻まれ併殺打となる。これ以上の失点は避けたい奈多クラブだが大石投手が制球に苦しみ二回には四球とワイルドピッチでさらに1点を献上し5-0となった。二回裏、ライナーズ有馬投手も制球に苦しみ先頭の本田選手を四球で歩かせた後、大石選手に二塁打、高瀬選手に死球で一死満塁、さらに九番今林（俊）選手にも四球で押し出し、一番今林（祐）選手に安打を許した後、二番今林（賢）選手も四球押し出しで3点を返され、なお満塁で奈多クラブとしては同点または逆転のチャンスだったが有馬投手はここで、続く三番と四番をフライに抑え同点すら許さない力投を見せた。三回表、奈多クラブはこの回から馬場口投手にスイッチ、一安打を許すもこの日初めてライナーズを0点に抑えると裏の攻撃では相手の守備の乱れから1点を追加し5-4と追い上げ、試合の流れを掴んだかに見えた。1点差とされ流れを渡しつつあったライナーズ、大事な先頭打者の池内選手が見事な中前打で出塁すると四球と内野安打で満塁とした。三番の正内選手は内野飛に倒れるも四番宇野選手が二塁打でしっかりと四番の仕事を果たす。続く久保田選手、国崎選手、三船選手も安打を放ち、この回4得点で勝負あり。奈多クラブは三、四、五回と1点ずつ返したが9-6でライナーズの勝利となった。制球に苦しみながらも要所を抑え、粘りの投球をみせた有馬投手も素晴らしかったが、何といても得点圏でしっかりと四番の仕事を果たす宇野選手の勝負強さには驚くばかりだった。（記事・写真：奈多フェニックス 實延 新伍）



奈多クラブ先発の大石投手。



雁の巣ライナーズ先発の有馬投手。



一回表、右前に先制打を放つライナーズ正内選手。



一回表、見事な本塁打を放ったライナーズ宇野選手。



初回、鋭い当たりを放つ奈多クラブ今林(祐)選手。



打球の早い奈多クラブ馬場口選手。



ライト戦に鋭い当たりを放った奈多クラブ大石選手。



四回表、代打で初球をとらえ右前打を放つ三船選手。

青松園B サンデーズ打線爆発で快勝！！

奈多サンデーズ（6勝3敗）2509 16 塚本○、砂場ー野々下（利）

三友クラブ（5勝3敗1分）5001 6 中内●、足達、平田ー谷崎

HR：古賀（風）、増田（奈多サ）、平田（三友ク） 3BH：江口（奈多サ）中内（三友ク）

2BH：野々下（利）（奈多サ）谷崎（三友ク） 盗塁：川原（正）、八島、田浦（奈多サ）

一回表奈多サンデーズは、先頭の砂場選手がヒットで出塁すると、三番江口選手が四球を選び一死二三塁として四番野々下（利）選手の犠牲フライで幸先よく先制。続く五番八島選手のタイムリーでもう1点を追加する。対する三友クラブはその裏、先頭から相手エラーを含む5連続出塁で1安打ながら5点を取り逆転に成功。負けじとサンデーズも二回表二死から3長打を含む4連続ヒット等で5点を取り、試合の流れを三友クラブに渡さない。乱打戦になるかと思われたが、両チームの先発投手が奮起して三回は両者無得点。四回表サンデーズは、疲れの見えだした三友クラブ先発の中内投手、代わった足達投手を追撃し、四球や3連続ヒットで得点すると、とどめはサンデーズ増田選手が三友クラブ三番手平田投手から豪快に右中間へ代打満塁HRを放ち、この一回一挙9得点。16ー5と三友クラブを引き離す。何とか反撃したい三友クラブは、四回裏一番平田選手が左翼へ本塁打を放ち意地を見せるも時間切れで試合終了。序盤は、流れがどちらに行くか全く読めずわくわくする試合だった。

（記事・写真：ソルトベイスターズ 坂本 皓祐）



四回表、サンデーズ代打増田選手、一打席の仕事人。



四回裏、意地の一発を放つ三友クラブ平田選手。



一矢報いた後の笑顔 平田選手。



奈多サンデーズ本塁打コンビ！！

雁レク8 三苦フレンズ辛くも勝利

三苦フレンズ 1060000 7 山口○、生野(拓)ー佐藤(由)

三苦三球会 0000600 6 今林(光)●、堺(達)ー半田

HR: 堺(恭)(三苦ホ) 3BH: 松田(三苦フ) 2BH: 佐藤(由)、寺山(三苦フ)、大津(三球会)

盗塁: 吉村(雄) 2、生野(拓)(三苦フ)

初回フレンズの攻撃は、吉村(雄)選手がショートのエラーを誘い出塁し、三盗を決める。続く山口選手の犠牲フライで先制!三球会先発の今林(光)投手は、ヒットを2本打たれるも初回1失点で抑える。一方フレンズ先発の山口投手は、初回3三振を奪い上々の立ち上がりを見せる。三回表フレンズは、先頭の吉村(雄)選手、生野(拓)選手が出塁すると、四番松田選手が右中間にタイムリー三塁打を放ち2点追加。そのあとも連打でこの回一挙6得点。反撃したい三球会は五回裏、フレンズの投手が山口投手から生野(拓)投手に代わると四死球でチャンスを作り、一番船橋選手、三番大津選手のタイムリーヒットでこの回一気に6得点と追い上げる。生野投手に代わり再度登板の山口投手が、このピンチをなんとか救った。六回以降は両チームともに得点を挙げられずゲームセット。三苦三球会は1点差まで追い上げるも、7-6という悔しい結果となった。

(記事・写真: 和白新町パイレーツ 中島 孝志)



2年ぶりの登板、三球会今林（光）投手。



圧巻のピッチング、フレンズ山口投手。



三盗を決めるフレンズ吉村（雄）選手。



先制打のフレンズ松田選手。



鋭い当たりを放つフレンズ寺山選手。



タイムリーヒットを放つ三球会大津選手



マルチヒットを放った寺山選手